

2023 秋号
vol. 132
広報誌

躍進

やくしん

題字：前理事長 嶋田 國重

特集

緩和ケアとは？



撮影/平山 誠二

場所/かえる寺の紅葉



Facebook



X



Instagram

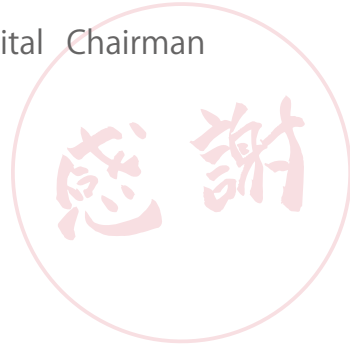
フォローをお願いします。



社会医療法人シマダ



Hospital Chairman



会 長

島田昇一郎

10月になり、厳しかった猛暑日も和らいできて、今年も残りあと少しとなりました。コロナは今年5月より感染症5類に引き下げられ、最近ではマスクをしている人もめっきり少なくなったようです。コロナの期間中、がん検診の受診率が下がり、がんの手術件数も減り、今後進行がんが増えるのではないかと心配があります。今月は内視鏡による早期がんに対する治療が特集されていますが、嶋田病院でのデータでも2年に一度の内視鏡検査を受けているとがんになっても早期の段階で見つかるというデータが出ており、一人でも多くの方の検診受診をお勧めしています。

さてこれからの医療についての問題ですが、来年2024年春から、「医師の働き方改革」が始まります。一般住民の方々にはあまり知られていませんが、現在、嶋田病院のような中小病院においては夜間の診療は大学などからの医師の応援で行われており、それを当直という扱いで普通になされていました。しかし医師の過剰労働が問題となり、夜間の診療の状況に応じそれほど忙しければ当直として扱われるものの、忙しいようであれば当直とは認められず一般の勤務の扱いとなります。勤務扱いとなってしまうとその医師は翌日の大学病院での勤務ができなくなってしまうため、当直が認められない夜間の診療がある程度忙しい病院には大学から医師が派遣されなくなり、今後の地域医療において大きな支障をきたすことが懸念されています。高齢化社会が進み救急車の搬送件数も増えてきており、私たち医療従事者は地域の方々が安心して暮らしていける医療提供体制を作っていくことにこれからも尽力していきますが、一方では住民の方々においても、不要な時間外の診療を避け、できるだけ診療時間内の受診をお願いするところです。社会の変化とともに医療の在り方も変化が求められてきますが、私たちは常に地域の方々が安心して暮らしていける医療提供体制の維持に努めていく所存です。

令和5年10月

早期がんに対する 低侵襲の内視鏡治療

内視鏡的粘膜下層剥離術 (ESD)



内視鏡的粘膜下層剥離術(Endoscopic Submucosal Dissection: ESD)は消化管(主に胃や大腸)の早期がんを内視鏡を用いてショベルカーのように掘削して切除する治療方法です。この方法は、内視鏡を用いてがんを切除するため体表に傷が残らず、外科手術よりも低い侵襲で治療を行うことが可能です。ESDは2006年に胃、2008年に食道、2011年に大腸で保険適応となり、現在は標準的な治療となっています。ESDは高度の技術を要する治療ですが、当院では2名の内視鏡治療医によって多くの早期がんを切除し、殆どの症例でがんの完全治癒を得ております。手術時間や入院期間は人それぞれですが、多くの方は1週間以内に退院することができ、退院後は問題なく日々の生活に復帰することが可能です。

消化器内視鏡センター長 矢山 貴之(ややま たかゆき) 医師

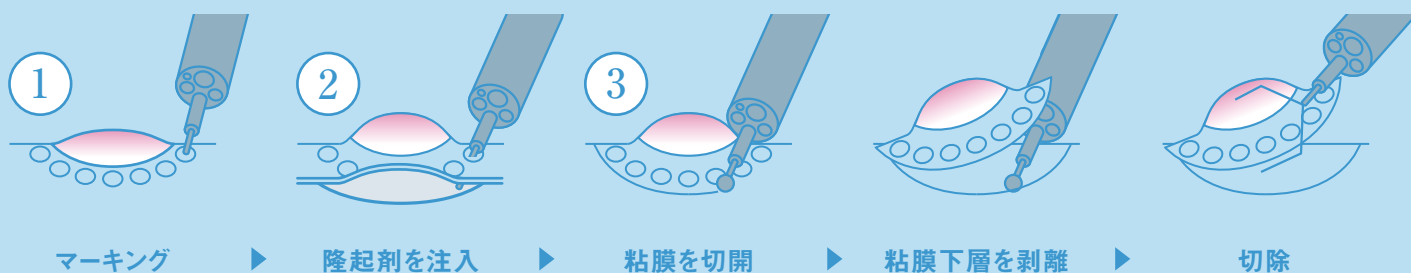
担当科 | 消化器内科

専門分野 | 消化器疾患

所属学会 | 日本消化器病学会 / 日本消化器内視鏡学会 / 日本内科学会

資格取得 | 日本消化器病学会 専門医 / 日本消化器内視鏡学会 専門医 / 日本内科学会 認定医

治療方法



1

内視鏡にて粘膜表面に拡がっているがんの切除範囲を確定します。
がんから数ミリ程度の安全距離をとってマーキングを行います。

2

粘膜の下にある粘膜下層に生理食塩水などを注射してがんを浮かせます。

3

内視鏡の先端から特殊な電気メスを出し、粘膜下層を直接はがして、
がんを粘膜ごと切除します。

ただし、ESDはすべての症例に適用可能なわけではなく、病変の性質や位置、患者の状態などを考慮して適切な治療法を選択する必要があります。必ず専門医と相談して、最適な治療方法を決定するようにしましょう。



緩和ケアとは？

緩和ケアでは、病気になった時の症状や気持ちの辛さを和らげ、よりその人らしく過ごすことができるように支える医療やケアを行います。これらへの対応は、積極的に治療を行っている間であっても必要なことです。特に重い疾病の場合は病気そのものだけでなく、将来のこと、検査・治療のこと、生活にかかる費用なども考えることでしょう。また、ご家族にとってもこれまでの生活が大きく変わることもあるかもしれません。本人やご家族の心身の負担をなるべく軽くするために、緩和ケアはあります。

日本の緩和ケアは、主にがんに対して普及発展してきました。今でも全国の多くの緩和ケアの施設は、がん疾患に対して主に活動をしています。しかし、本来の緩和ケアはがんのみを対象としているわけではありません。慢性疾患や根治できない疾病、命にかかわるような救急医療においても緩和ケアは必要とされています。

緩和ケアが行われる時期について

緩和ケアを受ける時期を聞かれたときの答えは、「いつでも、いつからでも」です。緩和ケアは人生の終わりの段階で行うものと誤解し、「緩和ケアはまだ早い」と思い込む方もまだおられます。緩和ケアは辛さを和らげる医療・ケアですので、適切な治療を行うためにも疾病の早期から始めるべきものです。もちろん、各科医師や一般スタッフの基本的な緩和ケアでの対応でよいこともありますし、より専門的な緩和医療の医師や緩和ケアスタッフが対応したほうがよい場合もあります。



緩和ケア相談、緩和ケア外来

当院での緩和ケアの相談は、緩和ケア外来への通院もしくは緩和ケア病棟に入院をを考えているという本人やご家族から、これまでのご病気の経過、希望することやご要望をお聞きします。

緩和ケア外来では、緩和ケア担当医師の診察を希望される方に対し外来診療を行います。緩和ケア外来とほかの診療科や病院といっしょに見ていくこともしています。また、必要に応じて緩和ケア認定看護師や臨床心理士、社会福祉士、訪問看護師やケアマネージャーと連携してチームでサポートします。本人の状態によっては、こちらからご自宅に何う訪問診療もおこないます。

緩和ケア病棟、緩和ケアチーム



吉永医師



病棟師長



病棟主任



緩和ケア認定看護師



臨床心理士

当院の緩和ケア病棟には、がん疾患による様々な心身の症状コントロールしマネジメントする専門の医師と看護師、心理士や薬剤師、社会福祉士やリハビリスタッフが在籍しています。つらい症状を軽くして、その人本来の充実した生き方ができるように支援をしていきます。

緩和ケアチームは、急性期病棟に入院しておられるがん疾患やつらい症状のある非がん疾患の方たちにかかわり、より治療を受けやすくしたり、生活を支える視点で関わったりしています。

地域の緩和ケア

地域におられる残念ながら治癒できない疾病をお持ちの方たちの生活を、どのように支えていくかを私たちは考えています。疾患はがんに限らず、心臓や肝臓腎臓などの慢性疾患、認知症や年齢による体力の低下など、多くの病気や状態とその症状があります。

小郡三井地区には、幸いかかりつけ医の先生が多くおられます。在宅訪問診療を行っている先生、訪問看護や訪問介護の施設、通所系の施設、さらに各地区に包括支援センターがあり、ケアマネージャーも多くおられます。

嶋田病院の緩和ケア科は、直接かわる患者さん以外にも、地域を支えるという視点をもってこれからも活動を行っていきます。



シマダのチカラ

「シマダのチカラ」では嶋田病院を支える
スタッフを紹介していきます。

第22回

緩和ケア病棟で活躍している

看護師 宮崎 浩一さんにインタビューしました。



Profile 宮崎 浩一さん
(みやざき こういち)

出身地 熊本県熊本市
(生まれは福岡県二日市)

勤務年数 6年目

資格 緩和ケア認定看護師

趣味・特技・休日にしていること

ビデオ鑑賞やゲームなど 休日は家の掃除など

1日のスケジュールを
教えてください！

- 8:30 病棟朝会
部屋持ち業務(検温、清拭など)
転入や入院があれば対応
- 11:30 休憩
- 12:30 部屋持ち業務 または 外来準備
- 13:00 面談(新規緩和ケア患者さんの情報を聴取)
- 14:00 緩和ケア外来の診察に同席
- 15:00 記録等
- 17:00 終業

外来から入院まで
患者さんのサポート
されてるんだー。
すごいなー！



患者さんをサポートする上で普段から
気をつけていることはありますか？

主に緩和ケアで新規の方を対応させていただいている
事が多いので、最初は不安を抱えている方が殆どです。

患者さんに寄り添った対応を行い、患者さんや家族の
分からないことを丁寧に伝え、何かあっても大丈夫！と
思ってもらえるよう対応しています。

今後の目標を教えてください！

先日公民館で講義を担当させて頂いたのですが、嶋田病院や緩和
ケア病棟の認知度は理解されていないの方が多かった印象です。

地域と共生する病院を目標とする以上、もっと地域の方々に嶋田
病院や緩和ケアを理解してもらい、仮に入院したとしても、「安心して
過ごせた」と言って頂けるような緩和ケアを創っていきたいです。

自宅でできる！オススメ筋トレメニュー

日々の生活の合間にちょっとした運動を行うことで筋力の低下を防ぎ、動きやすい体作りを行います。

今回は、床と椅子を使った太もも・膝裏のストレッチをご紹介します。

ストレッチの効果 ◆ 姿勢改善 ◆ けがの予防 ◆ リラックスができる



太もも・膝裏のストレッチ

①椅子に
落ちない程度浅く腰掛け、
足を出します。
(椅子から落ちない程度に)

②股関節を外に開きます。
③つま先を上に向け、
膝付近を把持して
膝を伸ばします。



ポイント

反動をつけず、10秒～20秒程度持続的に伸ばします。
痛みがない範囲で行いましょう

知っておきたい 緩和ケア

Vol.1

今回のテーマ

がんと診断されたときに

吉永 敬士 (よしなが けいじ) 医師

担当科 緩和ケア / 外科



がんと診断されたときは、なかなか冷静には慣れないし、今後のことが不安になってしまいます。国民の2人に1人ががんになるとわかっていても、「なんで自分が?」と思ってしまうものです。昔に比べると、がんの治療法は進歩していますが、依然として国民の3-4人に1人はがんで亡くなるのが現状で、かかってしまうとなかなか治らないことも多々あります。

がんの診断から検査、治療と進んでいく過程で、お気持ちのつらさや不安を経験したり、がんによって

痛みなどの症状があったりすることも稀ではないです。そんな時に緩和ケアが重要になります。主治医の先生に十分な緩和ケアの知識がある場合もありますが、そうでないこともあります。そんな時には緩和ケア外来をご検討ください。主治医の先生と連携しながら、患者様の症状やお気持ちのつらさの緩和を通してがん治療をサポートしていきます。



セカンドオピニオン ～主治医以外の意見を聞きたいとき～



- がんと診断され、治療選択について説明を受けたが、決められない。
- がんと診断された。担当医から説明を受けたが、診断について別の医師の意見を聞きたい。
- 担当医の話に納得がいかない部分がある。
- 担当医の意見を別の角度からも検討したい。
- 再発の診断を受けたが、担当医が提示する以外にも治療の選択肢がないかを知りたい。

ご相談は

主治医 看護師 外来相談窓口
かかりつけ病院の地域医療連携室
がん相談支援センター

受診する病院は自分で決めましょう

関連動画は
こちらです



日本緩和医療学会公式YouTubeチャンネルより

マンモグラフィ乳腺超音波検査キャンペーン

申込期限:2023年11月30日まで 検査期間:2023年12月28日まで

♥ マンモグラフィ乳腺超音波検査

通常価格 6,600円(税込) ▶ **5,500円(税込)**

♥ マンモグラフィ単独検査

通常価格 3,850円(税込) ▶ **3,300円(税込)**

ご予約方法

健診センター「AQUA」

※AQUA

1. ネット予約

(24時間受付可)

嶋田病院 人間ドック

Q 検索



2. 電話予約

(日・祝除く 9～17時の間)

☎ 0942-72-2375

ご安心ください!
女性スタッフ
が対応します!!



♥ 他コースと組み合わせて受診して頂くことも可能です。

♥ 親しい人へのプレゼントとしてもご利用可能です。ご予約時にご相談ください。

♥ 当日に空きがある場合は当日検査が可能です。

♥ 院内へ入られる際はマスクの着用をお願いします。

1 女性のがんで1番
多いのが乳がんです
年間約9万人(2018年度)の
女性が発症しています

2 乳がんは2つの発症
ピーク時があります
40～49歳、60～65歳までの
女性の方が多く発症します

9 人に1人が乳がんを
発症します

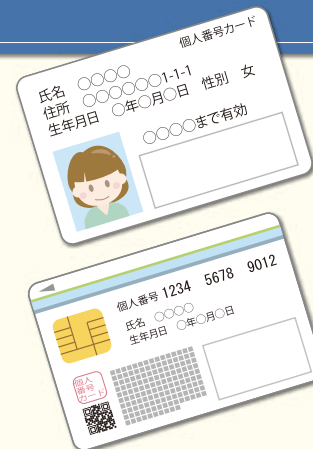


90 %以上の方が
治るがんです
早期(ステージI)の場合の、
5年生存率は90%以上です

※がん情報サービス(<https://ganjoho.jp/public/index.html>)からの抜粋データに基づく



2022年6月15日より健康保険証の代わりに
マイナンバーカードで受診できる
ようになりました。



オンライン資格確認端末(マイナンバーカードによる保険証確認)

◆ご利用可能時間/7:00~22:00

保険証と違って薬剤情報・健診情報も病院に伝えることが出来ます。ぜひご利用ください。

ご自身の健康保険情報、薬剤情報・医療費通知情報、特定健診情報等がマイナポータルで閲覧できるようになります。

マイナンバーカードを健康保険証として利用するためには、初回登録を行う必要があります。

学術活動[学会発表]令和5年7月~9月

日付	2023年7月22日
所属	診療部 糖尿病内科 医師
発表者	赤司 朋之
演題名	糖尿病のある高齢者と医療関係者の安心につながる サポート体制構築 (第10回日本糖尿病協会年次学術集会)

日付	2023年9月23日
所属	薬剤部
発表者	川田 賢司 (共同演者:吉田 佳代)
演題名	医師タスクシフトから考える薬剤師の未来像 (第82回九州山口薬学大会)

診療実績	2023年6月	2023年7月	2023年8月
新入院患者数	272人	279人	263人
救急車搬入数	218人	286人	279人
初診紹介数	484人	503人	475人
紹介率	64.1%	53.7%	47.2%
平均在院日数	8.8日	9.8日	9.0日

法人理念

医療、介護、全人的ケアを通じて地域とつながり、私たちがかわるすべての人たちが安心と満足と幸せを感じる組織であり続けます。



ビジョン

1. 私たちは、救急・急性期医療と専門医療、予防医学、介護とケア、地域との連携により、良質なサービスを切れ目なく提供します。
2. 私たちは、地域の方々が安心して自分らしく暮らしていけるよう、治し癒し支える社会を創ります。
3. 私たちは、かわる人たちがすべてが満足と幸せを感じ、私たち自身も夢を持ち輝ける組織になります。

[編集後記]

今年の残暑は例年以上に厳しかったように思えます。少し暑さも和らぎ、過ごしやすい秋に入ってきました。

現在、嶋田病院では業務改革を進めています。ロボットを導入したり、システムを変更したり...

働きやすい環境の構築や業務効率化で空いた時間を患者さんのために使うことが出来るため、医療の質も向上すると考えています。

オンライン資格確認(マイナ保険証)も、約1年後に全面スタートが予定されています。急速に進むデジタル化社会に適応しつつ、セキュリティも構築しないと取り返しのつかないことになってしまいます。忙しい日々ですが、地域住民の皆様のため、職員のためにDX(デジタル改革)を進めてまいります。

[編集/広報委員 本間 翼]